

2年次（R8）の取組



4 2年次

研究の年次計画（R8～R10）

2年次（R8）

3年次（R9）

4年次（R10）



実践期

- ① **全学校で実践**
全教員を対象とした
垂水小授業研究会と
夏季合同研修会を実施
- ② **評価の研究**
- ③ **指導計画の修正**
- ☐ 3年次の準備



発展期

- ☐ 各教科の研究
- ☐ 学びの質の向上
- ☐ 幼保こ・高校
との接続
- ☐ 4年次の準備

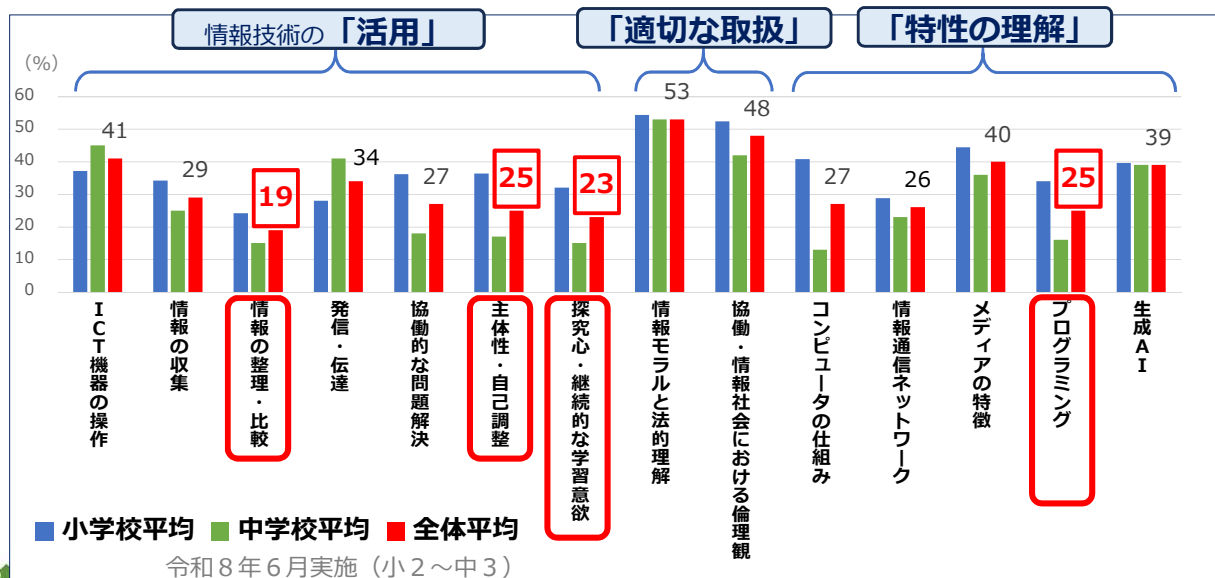


結実期

- ☐ めざす姿の具現
- ☐ 全国に発信
- ☐ 成果と課題
- ☐ 次年度の準備

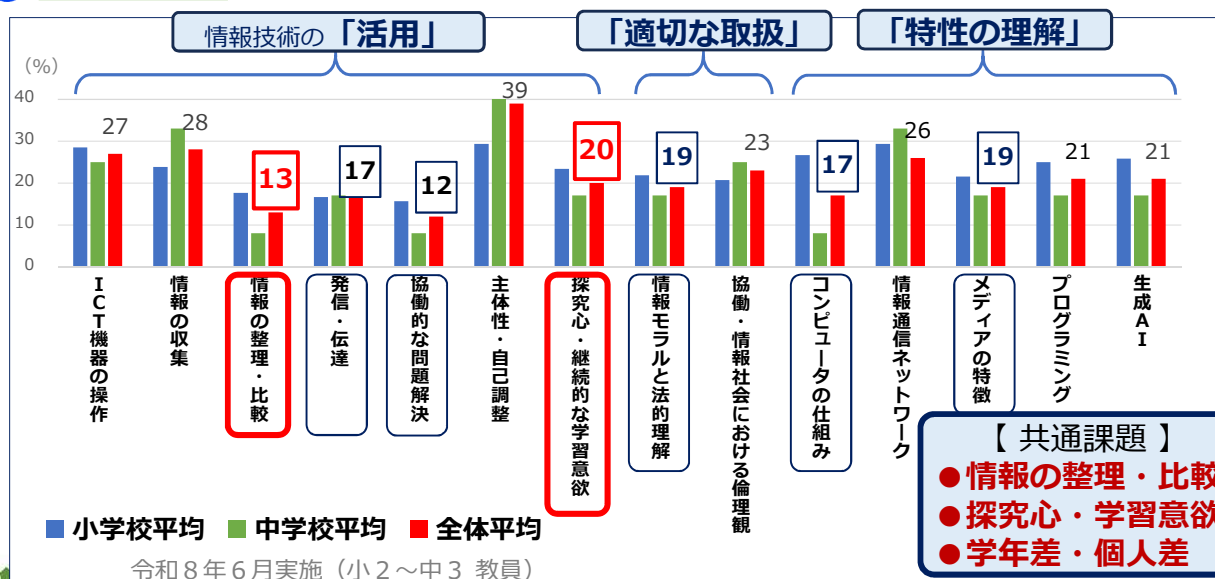
GIGAスクール構想第1期（R3～R6）の取組を基盤として

4 2 年次 子供の意識調査の結果 (強肯定評価の割合)



GIGA School city Tarumizu Board of Education

4 2 年次 教員の意識調査の結果 (強肯定評価の割合)



【共通課題】

- 情報の整理・比較
- 探究心・学習意欲
- 学年差・個人差

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

垂水小授業研究会「5年 情報の時間（情報ブロック）」

単元名：正しい情報を探すスキルー情報探索の高度化と評価ー

時間	具体的な学習内容	指導のねらい・重要語句
1	検索の達人！AND検索の極意 ① 膨大な情報から欲しいものを絞り込むために、複数の言葉を組み合わせた検索クエリを作る。 ② 「垂水市 スペース 歴史」のように AND 検索を使い、目的の情報に最短でたどり着く練習をする。 ③ 安全な環境下で効率的な検索手法を身につける。	ねらい 論理演算を用いた検索クエリの構築を通じて、膨大な情報群から目的とするデータに効率的かつ正確に到達する手法を習得する。 重要語句 検索クエリ（検索エンジンに入力する具体的な語句や文章のこと。複合的なキーワードも含まれる。）
2	情報の「怪しい点」を見つけよう ① 情報源（発信者、日時、出典）が不明瞭な Web サイトの「怪しい点」を探す。 ② 公式サイト（一次情報源）と、個人のブログや不確かなまとめサイトを比べる。 ③ 信憑性を多角的に評価する基準（だれが、いつ、どこで）情報源を評価する。	ねらい 情報の信憑性を判断するための評価基準を自ら体系化し、発信者の意図や情報の鮮度を確認する批判的思考（クリティカル・シンキング）の基礎を養う。 重要語句 一次情報源（加工や解釈が加わっていない、事実や事象に最も近いオリジナルの情報）
3	情報の「うら」を突き合わせよう ① 新聞、書籍、複数の Web サイトなど、複数の情報源を比較する。 ② 情報の食い違いがないか確かめる「クロスチェック」を体験する。 ③ メディアの特性（速さ、詳しさなど）によって、情報の伝わり方がどう変わるかを考察する。	ねらい 複数の情報源を照合することで情報の偏りや誤りを検出し、メディアの特性が情報伝達に及ぼす影響を多角的に分析する力を育てる。 重要語句 クロスチェック（異なる複数の方法や情報源を用いて、内容の正確さを再確認すること）

ねらい

情報の信憑性を判断するための基準を自ら体系化して、発表者の意図や情報の鮮度を確認する批判的思考の基礎を養う。

本単元で育成したい情報活用能力

【情報技術の「活用」】

○ 情報の収集

【情報技術の「特性の理解」】

○ メディアの特徴

導入

ホーム > ニュース > 自然・環境 > 記事詳細

【自然】錦江湾に謎の巨大魚？垂水港近くで「体長4メートルのリュウグウノツカイ」が泳ぐ姿が目撃される

鹿児島県ニュースWeb 2026年5月30日 10:43配信



昨日29日の夕方、垂水市の垂水港（南池・垂水フェリー乗り場）の近くで、深海魚として知られる「リュウグウノツカイ」が泳いでいるのを、釣りをしていた地元の小学生グループが発見し、スマートフォンで撮影に成功した。

目撃されたリュウグウノツカイは体長約4メートル。銀色の体に赤いひれが特徴で、水面近くを泳ぎ回っていたという。

専門家は「錦江湾は水深が深い場所（最大水深約200メートル）もあるため、深海魚が泳ぐ可能性はゼロではない。ただ、生きたまま浅瀬で見つかるのは非常に珍しい」と話。

ネット上では「地震の前触れではないか」と心配する声も広がっている。

この記事へのコメント (853件)



【驚愕】鹿児島に世界初・全長3kmの「海上滑り台」が建設中！時速60kmで海を渡る異次元の移動手段

[MINAMI KYUSHU NEWS WEB] 経済 | 地域 | 国際 | スポーツ

ホーム > 地域ニュース > 鹿児島県 > 詳細記事

【驚愕】カンパチ生産量日本一の垂水市、ゴールデンウィークの「カンパチ祭り」を延期！原因はまさかの「中東・ホルムズ海峡の封鎖」

2026年4月5日 14:30 配信 | 南九州ニュース編集部

鹿児島県垂水市漁協は、毎年ゴールデンウィーク（GW）の恒例行事として全国からファンが集まる「垂水カンパチ祭り」の開催を延期すると発表した。



地元の特産品イベントが延期となる理由として挙げたのは、なんと地球の反対側で起きた「ホルムズ海峡の事実上の封鎖」である。この国際的な事態により日本国内への原油供給が滞り、漁船の燃料となる重油が不足。さらに、持ち帰り用の発泡スチロールや容器など、石油由来の資材の調達が困難になったことが直撃した。

「養殖の維持を最優先するため、お祭りを泣く泣く延期する」としており、地方の漁師の日常が、リアルな国際情勢の煽りを直接受けていることを感じさせる事態となっている。

情報提供元：垂水市漁協 プレスリリース（2026年4月）

5つの本市の記事を提示して、フェイクニュースかどうかを予想

展開



記事の真偽について調べたことを
全体で共有（他者参照）



GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

「情報の時間」の学習評価について

	内 容
ねらい	○ 学びのプロセスと成長に着目 ○ 適切に評価して授業改善へ
日々の評価	○ 多様な学習の成果物と観察 ○ デジタルデータとして蓄積
学期末評価	○ 自己評価カードを保護者に配布 子供自ら学習の成果物を披露 ○ 通知表で学習状況を連絡
その他	○ 年度末にデジタルデータを引継

5・6年生

情報の時間 1学期のあゆみ



☐ 学年

名前



1 学習の単元名

☐ ○○○○

☐ ○○○○

☐ ○○○○

☐ ○○○○

2 学習の振り返り

振り返りはまるまるに、○、△ を入力しましょう。

  学び の あゆみ	 よくで きた かな △	 できた かな ○	 がんばった かな △	 がんばった かな ○
(1) 情報活動の操作を習得しながら、課題を果した。習得し方、習得したりました。	☐	☐	☐	☐
(2) 課題を果した習得や、習得に習得するテーマへの理解が分りました。	☐	☐	☐	☐
(3) プロジェクトの進め方、データや成果の使い方が分りました。	☒	☐	☐	☐

3 がんばったことや成長したこと

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



4 これからがんばりたいこと

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○



自己評価カード（５・６年生用）

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

協和小研究公開「3・4年 ふるさと垂水（テーマ探究）」

探究的な学びのプロセスで「情報の時間」の学びを活用

垂水のよさを
PRするための
テーマを設定



本市はカンパチの
生産量が日本一

取材等の情報を
収集・整理

Q：カンパチは、餌をやるとき、において分かるのですか。

A：においてはありません。船の音で餌だと分かるようです。

カンパチ漁で働く
保護者の方に取材

他県の小学校に
発信



動画や絵を使った
スライドで紹介

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

全教員対象の夏季合同研修会（終日）



情報活用能力を
育む学習者主体の
授業について講話



授業・校務に役立つ
生成AIの活用法



「情報の時間」の
学びと融合した
「ふるさと垂水」の
授業づくり（演習）

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

学習計画の見直しの視点「体系表」

構成要素の見直し

- 小項目
- 知識及び技能と思考力、判断力、表現力等

ポイント

- 各学年で設定
- 垂水らしさを加味

小学校		中学校	
知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
① 課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現 基本的な操作	・多様な情報収集の方法を身に付ける ・情報やデータを整理し傾向を把握する方法を身に付ける ・目的に応じた表現技能を身に付ける ・情報技術の適切な操作を身に付ける	・適切な方法で情報やデータを収集・整理し傾向を明らかにしたうえで、目的に応じて効果的に表現し、身近な課題を解決できる	・効率的な情報収集の方法を身に付ける ・情報やデータの統計的な分析の方法を身に付ける ・複数の情報技術を組み合わせた表現技能を身に付ける
② 情報技術の適切な取り扱い	・法や制度 倫理 安全	・権利に係る基本的な法・制度や責任を理解する ・倫理的配慮や情報セキュリティの基本を理解する ・心身を含むリスク評価と適切な対処を理解する	・法や倫理等を多面的に考え、情報セキュリティを踏まえつつ、情報技術のリスクを評価して適切に行動することができる
③ 情報及びコンピュータの活用	・生成AIを含む情報技術の基本的な仕組みや特性を理解する	・情報技術の仕組みを理解する ・AIの仕組みと社会での活用を理解する ・アルゴリズムの理解と構造的な表現方法を身に付ける ・ユーザ視点の情報デザインを理解する ・データの効率的な管理・活用を身に付ける	・情報技術の仕組みや特性を踏まえ、AIやアルゴリズム、情報デザイン、データ分析、メディアの活用と社会的視点を統合し、生活や社会における課題を多面的に分析して解決策を構想する

出典：教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間WG
情報・技術WG (R7.11.10)

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

学習計画の見直しの視点「情報の時間」

学習計画の見直し

- 「ミニ探究ユニット」の学習内容
- 時代を先取りした学習内容

ポイント

- 学びの質
- 企業等との連携

「ミニ探究ユニット」のイメージ①

補足イメージ3

※以下、議論を深める上で参考とするイメージであり、実際には現場での実証も含め継続的に検討

単元名「みんなの『好き』をポスターにまとめよう」(中学年)			
概要			
友達の好きなものなどについてアンケート調査を行い、結果をグラフ化して分析し、ポスターにまとめて相互交流することで、クラスの興味・関心の傾向等を明らかにする。			
学習活動のイメージ			
①課題の設定	②情報の収集	③整理・分析	④まとめ・表現
友達は何か好きなものがある？ ○自分の好きなものを出し合いながら、友達の好きなものには、食べ物、スポーツ、アニメなどいろいろな種類があることに気付く。クラスの友達の興味・関心にはどのような傾向があるのかをランキングで明らかにすることを課題として設定する。	アンケートツールを使って、情報を収集しよう ○情報収集のためには、アンケート調査が有効であることと、 ウェブアンケートを使った情報収集の方法 を学ぶ。 ○各グループで、何を調べたいのかを話し合い、アンケートの質問項目を考える。グループで ウェブアンケートを作成し 、友達の好きなものについて 情報を収集 する。	表計算アプリでアンケート結果を集計して、グラフ化しよう ○集めた情報を整理・分析する方法としてグラフ化することの意義を理解する。 アンケート結果を表計算アプリで集計し、グラフ化 する方法を学ぶ。 ○ アンケート結果をグラフ化し、インターネットなどで調べた情報と比較 する。グループで ポスターにまとめる 方法を学ぶ。	ランキングをポスターにまとめて交流しよう ○グラフや文字を用いて 分析結果をポスターにまとめる 方法を学ぶ。 クラウドでスライドを共有し、グラフや分析したことを共同編集 しながらまとめる。 ○作成したポスターを オンライン検索ツールで相互に共有 する方法を学ぶ。ほかのグループのポスターを参照しながら、自分たちのポスターを完成させる。 ○共有しているポスターを 相互に参照し、コメントを付け合うなどして交流 する。

出典：教育課程部会 生活、総合的な学習・探究の時間WG
情報・技術WG (R7.11.10)

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

学習計画の見直しの視点「ふるさと垂水」

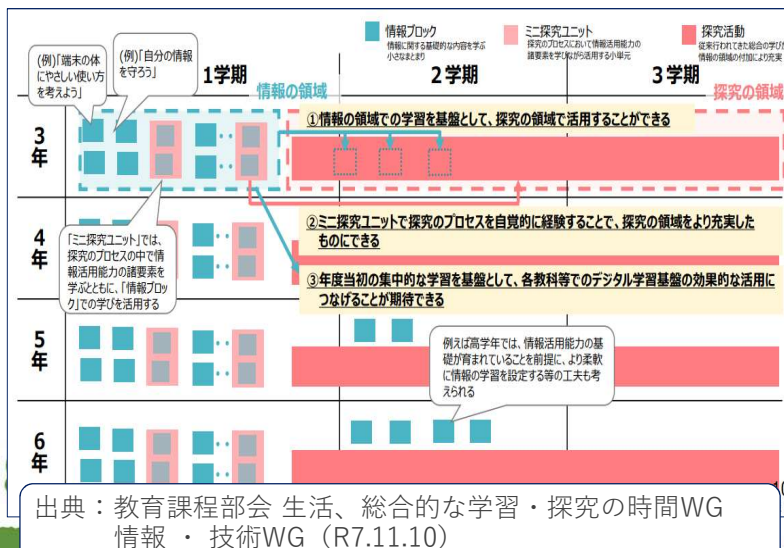
学習計画の見直し

- 「情報の時間」との接続を意識
- ふるさとを見つめ、

探究的に学ぶ内容

ポイント

- テーマ探究とマイ探究
- 関係課・企業等との連携



GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

各校の特色を生かした単元づくり

防災かるた



棒おどり



桜島の火山灰の研究



シャワークライミング



たまねぎの収穫



カンパチの餌やり



GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

協和小研究公開「6年 理科(各教科の学びへ)」

各教科の学習において「情報の時間」の学びを活用

生き物と空気との関わりについて課題を設定



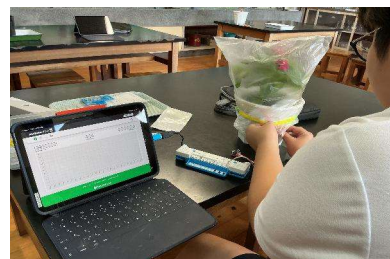
植物の呼吸に着目

植物の呼吸を調べる方法を考案



プログラミングで追究

植物の呼吸を調査した結果を考察



センサーで調査・分析

GIGA School city Tarumizu Board of Education



4 2年次

各教科の授業改善の視点「『情報の時間』との関連」

指導計画の見直し

- 「情報の時間」の学習との重なり
- 時数調整

授業の見直し

- 「情報の時間」の学びを発揮する場面
- 学習者主体の授業づくり

次の学習指導要領



デジタル学習基盤が学習の前提

情報活用能力を体系的に整理し、主として「要」となる教科等で育成する
(※)ただし、一部教科では当該教科の資質・能力育成の観点から引き続き担うものもある

情報科の内容をさらに充実

情報・技術科を創設

総合に情報の領域を付加

情報活用能力を体系的に整理・構造化し、育成すべき資質・能力を明確に

次の学習指導要領



情報活用能力は「要」となる教科等において育成されている前提で、各教科等を指導

左記の例の場合、コンピュータなどを使った情報収集に関する内容は、小学校総合の情報の領域で学ぶこととなり、社会ではこれを学んでいる前提で、調べまとめる学習を行える

その他、小学校算数におけるプログラミング教育などもこれに該当

出典：教育課程部会 情報・技術WG (R8.6.25)

GIGA School city Tarumizu Board of Education